

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公開番号】特開2000-324377(P2000-324377A)

【公開日】平成12年11月24日(2000.11.24)

【出願番号】特願平11-128840

【国際特許分類】

<i>H 04 N</i>	<i>5/232</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>G 02 B</i>	<i>7/28</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>G 02 B</i>	<i>7/34</i>	<i>(2006.01)</i>
<i>G 03 B</i>	<i>13/36</i>	<i>(2006.01)</i>

【F I】

<i>H 04 N</i>	<i>5/232</i>	<i>H</i>
<i>G 02 B</i>	<i>7/11</i>	<i>N</i>
<i>G 02 B</i>	<i>7/11</i>	<i>C</i>
<i>G 03 B</i>	<i>3/00</i>	<i>A</i>

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月13日(2006.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮影レンズと、

上記撮影レンズの形成する像を観察する観察光学系と、

上記撮影レンズが形成した像から画像データを生成するための撮像素子と、

上記撮影レンズの射出瞳を通過した光束から2つの像を上記撮像素子へ形成する焦点検出光学系と、

撮影準備位置に設定されると上記観察光学系と上記焦点検出光学系へ撮影レンズの光束を導き、撮影位置に設定されると上記撮像素子へ光束を導くミラーと、

上記ミラーの撮影準備位置において、上記撮像素子の出力信号より上記2つの像の間隔を検出し、上記撮影レンズの焦点調整の為のデフォーカス量を算出する焦点調整回路と、
を有することを特徴とする電子的撮像装置。

【請求項2】

上記ミラーは更にサブミラーを有し、該サブミラーによって上記ミラーの半透過部を通過した上記撮影レンズからの光束を上記焦点検出光学系へ導くことを特徴とする請求項1に記載の電子的撮像装置。

【請求項3】

上記焦点検出光学系が上記撮像素子へ2つの像を形成する範囲を示した情報を記憶した不揮発性メモリを更に有することを特徴とする請求項1に記載の電子的撮像装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の一態様による電子的撮像装置は、撮影レンズと、上記撮影レンズの形成する像を観察する観察光学系と、上記撮影レンズが形成した像から画像データを生成するための撮像素子と、上記撮影レンズの射出瞳を通過した光束から2つの像を上記撮像素子へ形成する焦点検出光学系と、撮影準備位置に設定されると上記観察光学系と上記焦点検出光学系へ撮影レンズの光束を導き、撮影位置に設定されると上記撮像素子へ光束を導くミラーと、上記ミラーの撮影準備位置において、上記撮像素子の出力信号より上記2つの像の間隔を検出し、上記撮影レンズの焦点調整の為のデフォーカス量を算出する焦点調整回路と、を有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、他の態様による電子的撮像装置は、上記第1の発明による電子的撮像装置において、上記ミラーは更にサブミラーを有し、該サブミラーによって上記ミラーの半透過部を通過した上記撮影レンズからの光束を上記焦点検出光学系へ導くことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

そして、更に他の態様による電子的撮像装置は、上記焦点検出光学系が上記撮像素子へ2つの像を形成する範囲を示した情報を記憶した不揮発性メモリを更に有することを特徴とする。